

療育研修会

北海道 支部
講師 金川 基

◆テーマ:筋ジストロフィーの新たな治療薬の開発に向けて

13:00 北海道支部・村上より先生方の紹介、研修会の説明

13:05 北海道医療センター・菊地先生より金川先生の研究等の詳しい紹介

13:15 糖鎖異常型筋ジストロフィーの歴史

13:30 糖鎖異常型筋ジストロフィーに対する治療法開発

13:50 糖鎖異常型筋ジストロフィーに対する治療・治療薬・臨床試験の現状と展望

14:15 質疑応答

14:40 研修会終了

療育研修会実施状況

北海道 支部 参加数 40 名

実施場所 まいる在宅支援サービス 会議室



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

説明が分かりやすく大変よかった。

貴重な話が聞けて良かった。

基礎研究の大切さがよくわかりました。講師の先生ありがとうございました。

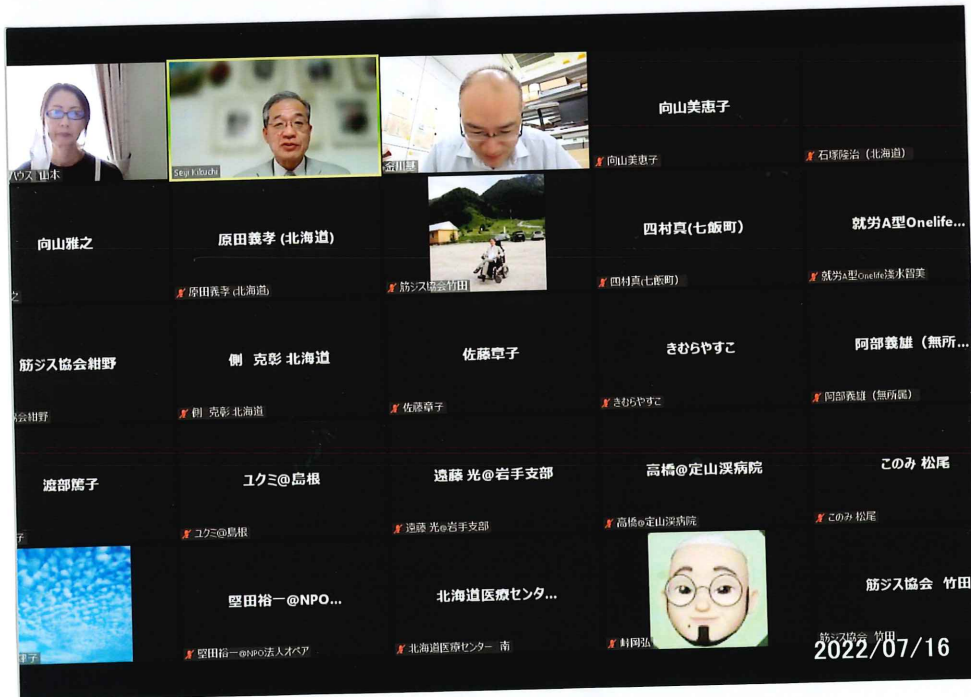
新しい研究情報をととてもわかりやすくお話ししていただき、とても感謝しております。長期間に渡って、研究されてきた事に感謝致しました。

難解な最新研究の成果や専門用語等をケーキ等の一般的な言葉で例えていただき、素人にもわかりやすくご説明いただいた金川先生に大変感謝いたします。

筋ジストロフィーの知識があまり無い状態の参加でしたが、とても分かりやすく説明して下さい大変勉強になりました。今後の研究によって、治療法が確立されることを切に願っております。

治療法の話はためになりました。

貴重なお話をありがとうございました。金川先生今後も研究頑張ってください。



令和4年6月吉日

関係者様各位

一般社団法人

日本筋ジストロフィー協会北海道地方本部

本部長 竹田 保

筋ジス福祉講演会の開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、一般社団法人日本筋ジストロフィー協会北海道地方本部では、日本財団助成事業として以下の通り「2022年度第1回療育研修会筋ジス福祉講演会」を開催することとなりました。

つきましては、多くの皆様にご参加いただきたく周知ご協力賜りたくお願い致します。

いままで困難であった筋ジストロフィーをはじめとする神経・筋疾患の治療方法が、近年のIPS細胞や遺伝子解析等の研究の発展により、新たな段階へ向けて筋ジストロフィーの1つのモデルとして、ISPDが欠損したマウスを作出し、CDP-リビトールの合成不全と糖鎖異常が発症の原因になることを明らかにしました。筋ジストロフィーや先天性糖鎖不全症など治療法開発にむけて大きな貢献が期待できます。

このため、本研修会では、詳しい解説も交えながら、皆さまにも分かりやすい内容になっていますので、何卒、ご周知・ご案内の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

日時 : 7月16日(土) 13:30~14:30 (13:00 開場)

講師 : 菊地誠志 (北海道医療センター名誉院長)

金川基 (愛媛大学 大学院医学系研究科 教授)

演題 : 筋ジストロフィーの新たな治療薬の開発に向けて

内容 : 筋ジストロフィーの新たな治療効果と最新治療情報など現在の研究について、講演致します。

参加費 : 無料

定員 : 90名

開催 : Zoom ミーティングによる Web 開催

対象者 : 筋ジストロフィー協会会員、家族、障がい当事者、医療・福祉系関係者、他

申込先 : 別紙ご案内チラシの QR コード又は以下の申込フォームより申し込みください

申込受付後、Zoom ミーティングの URL が返信させていただきます

<https://forms.gle/AEoqhmaBdwuuCz4e8>

問合せ : 一般社団法人 筋ジストロフィー協会北海道地方本部 011-685-4647 (担当 : 土田)

以上

2022年度第1回療育研修会 筋ジス福祉講演会

日時 令和4年7月16日(土) 申込締切7月9日(土)

時間 13時30分～14時30分 13時開場

場所 zoom開催 参加費無料

視聴方法

- ①北海道筋ジストロフィー協会ホームページより申込→後日 申込者へ「視聴用パスワード」を返信
- ②配信開始日、北海道筋ジストロフィー協会ホームページ「難病福祉講演会」をクリック→パスワードを入力

- 司会進行:北海道医療センター 名誉院長/難病診療センター・チーフコーディネーター
菊地 誠志 先生

経歴:北海道難病対策協議会 委員長、札幌市難病対策地域協議会 委員長
日本神経学会専門医・指導医



- 基調講演:愛媛大学 大学院医学系研究科 教授
金川 基 先生

経歴:北海道大学 大学院理学研究科博士後期課程化学専攻修了、
2012 神戸大学医学(系)研究科(研究院) 講師



演題:筋ジストロフィーの新たな治療薬の開発に向けて

筋ジストロフィーの1つのモデルとして、ISPDが欠損したマウスを作出し、CDP-リビトールの合成不全と糖鎖異常が発症の原因になることを明らかにしました。筋ジストロフィーや先天性糖鎖不全症など治療法開発にむけて大きな貢献が期待できます。現在の研究についてご講演頂きます。

お問合せ先:一般社団法人 日本筋ジストロフィー協会 北海道地方本部

住所:札幌市手稲区前田7条12丁目2-4-101

TEL&FAX:011-685-4647 メール:info@jmda-h.net

お申込み:右のQRコードから申込フォームにてお申込み下さい

<https://forms.gle/AEoghmaBdwuuCz4e8>



主催:一般社団法人日本筋ジストロフィー協会

共催:一般社団法人日本筋ジストロフィー協会北海道地方本部、一般社団法人日本筋ジストロフィー協会DMD分科会

協力:NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター、全脊連札幌支部

協賛:株式会社 北海道オフィスプロダクツ